

水曜通信 4

東北学院大学研究ブランディング事業通信
「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」

2017年
7月

第4回水曜礼拝（公開大学礼拝）は 7月12日（第2水曜日）18:30-19:20



説教：阿久戸 義愛（本学講師）
奏楽：小野 なおみ（本学礼拝オルガニスト）

<礼拝次第>

前 奏：J.L.クレープス
「心よりわれ汝を愛す、おお主よ」
讃美歌：194番「さかえにみちたる」
聖 書：ルカによる福音書 24章13-32節
讃美歌：262番「十字架のもとぞ」
説 教：「光の射す方へ」
祈 祷
頌 栄：539番
後 奏：2ページ参照

頌栄に引き続き、後奏として、
オルガン演奏による讃美奉献があります。

8月の水曜礼拝はお休みです。
また9月から水曜礼拝は第3水曜日におこないます。
次回第5回水曜礼拝は**9月20日**です。



【演奏者紹介 小野なおみ】

国立音楽大学音楽学部器楽学科オルガン専攻卒業。オルガンを故吉田實、青田絹江両氏に師事。フランス、トゥールーズ国立高等音楽院オルガン科ではオルガンをミシェル・ブヴァール、ヤン・ヴィレム・ヤンセン各氏に師事、一等賞を得て卒業。現在は地元仙台においてオルガン指導にあたる傍ら、国内各地でソロ、アンサンブル演奏活動を行う。宮城学院女子大学音楽科非常勤講師、東北学院大学、尚絅学院大学、宮城学院女子大学礼拝オルガニスト。日本キリスト教団仙台東六番丁教会オルガニスト。日本オルガニスト協会並びに日本オルガン研究会会員。

【前 奏】

J.L.クレプス（1713-1780）：心よりわれ汝を愛す、おお主よ

【後 奏】

J.S.バッハ（1685-1750）：チェンバロ協奏曲第5番 へ短調BWV1056より 第2楽章 ラルゴ

J.S.バッハ：前奏曲とフーガ ロ短調 BWV544

R.シューマン（1810-1856）：「子供の情景Op.15」より「トロイメライ（夢）」

M.デュリュフレ（1810-1856）：ソワッソン大聖堂の鐘によるフーガ Op.12

ブランディング事業主催・共催・協賛の講演会のお知らせ

◆サマーカレッジ公開講演会◆

2017年8月7日（月）10:00-11:30

土樋キャンパス ホーイ記念館ホール
「ルターから今を考える」

小田部 進一（玉川大学教授）

◆東北学院大学研究ブランディング事業公開講演会◆

2017年9月15日（金）18:00-19:45

土樋キャンパス ホーイ記念館ホール
「現代と福音—改革教会の実践から考える—」

ウィリアム・ストーラー

（米国プリンストン神学研究所所長）

いずれも申込不要、参加無料です

第3回水曜礼拝報告（説教：原田浩司、奏楽：小野なおみ）

6月14日（水）18：30 - 19：00

前 奏：F.トウンダー「来たれ聖霊、主なる神よ」

讃美歌：34番「いのちのたびじは」

聖 書：『ヨハネによる福音書』 12章20節～26節

説 教：原田浩司（本学准教授）「十字架に咲く一粒の麦」

頌 栄：544番「あまつみたみも」

後 奏：J.S.バッハ「来たれ、創り主にして聖霊なる神よ」BWV667

奏 楽：小野なおみ（本学礼拝オルガニスト）



【説教要旨】

「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。」（ヨハネ12:24）畑に撒かれた麦は撒かれた時のままでは収穫を得られない。土の中で堅い殻を破って芽を出してはじめて麦は収穫につながる。学生たちは東北学院という畑で芽を出す一粒の麦である。だが、イエスの教えの真意は「このわたしが一粒の麦である」ということにある。あなたはわたしの「実」であり「実り」である、と。キリスト教の十字架が象徴するイエスの死。その死による実りによって豊かに救われ、生かされている恵みを覚えたい。（原田浩司）



礼拝に続いて19時10分から30分まで、小野なおみ（本学礼拝オルガニスト）の伴奏による聖歌隊の合唱と中川郁太郎（本学特任准教授）の独唱で讃美しました。

「夕べの賛美」の音楽を中心に、聖歌隊と私で4曲歌いました。スウェーデン、ドイツ、スコットランド、アメリカと、多国籍の歌にこめられた「神への想い」を、皆様に感じていただけましたら幸いです。（中川郁太郎）

7月31日からステンドグラスの修理が始まります。

修理の完了は来年3月初めです。その間しばらくステンドグラスのない礼拝堂となりますが、1932年の礼拝堂献堂以来初めての貴重な機会ですので、作業の一部を8月3日(木)に公開します。

修復作業公開 (申込不要・参加無料)

日時：2017年8月3日(木) 14:00-16:00

場所：ラーハウザー記念東北学院礼拝堂

ステンドグラスの修復を担当する平山健雄氏による解説があります。



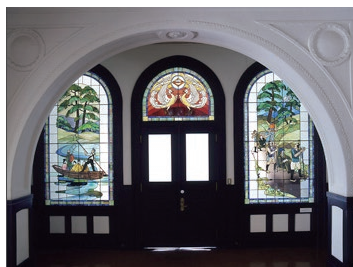
光ステンド工房 代表 平山 健雄

日本を代表するステンドグラス作家・修復家です。1976年にフランス国立高等工芸美術学校(ENSAAMA)ステンドグラス科に留学して、3年間ステンドグラスの古典技法を学び、帰国後に自身の工房を立ち上げました。主な作品として、桜美林大学女子寮や東京都中央区立月島第三小学校のステンドグラスがあります。近年では修復も多く手掛けており、代表的なものとしては、横浜市開港記念会館(1927年宇野澤工房作)、日本基督教団鎌倉教会(1926年小川三知作)があります。

長年の功績が認められ2000年に地元横浜市より「横浜マイスター」の称号が授与されました。



桜美林大学女子寮エントランストップライト「奇跡の漁り」
H1200×W3000



横浜市開港記念会館2階広間(修復)
H約2900×W約1510×2枚 H約1140×約1510×1枚

文部科学省私立大学研究ブランディング事業とは：

学長のリーダーシップの下、大学の特徴ある研究を基盤として、全学的な独自色を大きく打ち出す取り組みを行う私立大学に対し、施設費・装置費・設備費と経常費を一体的に支援するもので、各大学の特色化・機能強化の促進を目的としています。東北学院大学は、「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」との事業名で平成28年11月22日に採択されました。

東北学院大学研究ブランディング事業通信
第4号

2017年6月30日発行

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1

TEL：022-264-6405 (研究機関事務課)

E-mail：branding@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

URL：http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/theology/